

早池峰岳神楽保存会

たけ

(岩手県花巻市)



出演日時：11/1 14:55～ 演目：五穀、諷誦、権現舞

岳神楽は、花巻市大迫町の岳地区に伝承される早池峰神社の奉納神楽です。昭和51年（1976年）に大償神楽とともに「早池峰神楽」として国の重要無形民俗文化財に指定され、平成21年（2009年）にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。起源は定かではありませんが、文禄4年（1595年）の銘がある獅子頭が現存し、その歴史は南北朝時代まで遡ると考えられています。

五穀

あまてらすおおみかみ うけもちのかみ つきよみのみこと つか
天照大神は保食神のもとへ月読命を遣わしました。保食神が口からごちそうを出しても
あめくまびとのみこと
てなすと、月読命は、怒って保食神を殺します。天照大神が天熊人命を遣わすと、死体か
あめのふとだまのみこと
ら五穀が生えていました。天熊人命は五穀を天照大神に献上するため、天布刀玉命に託します。この場面を表した舞です。

早池峰岳神楽保存会

（岩手県花巻市）



出演日時：11/1 14:55～ 演目：五穀、諷誦、権現舞

ふうしょう 諷誦の舞

荒舞の中でも最も激しい演目で、^{たかまがはら}高天原の荒神が悪神悪鬼を退散させ、四方を鎮護する様子を表した舞とされています。荒神は武甕槌命や天尾羽張命ともいわれますが、詞章がなく定かではありません。お囃子と舞手の動きが揃う場面が見どころで、観客の掛け声や拍手で盛り上がる人気の演目です。

権現舞

権現舞は神楽の最後を締めくくる舞です。権現様の「歯打ち」は悪魔退散、「身固め」は無病息災の御利益があるとされます。火を使う場所で行う「火伏」は特に霊験あらたかとされ、家の新築や祝い事には「しとげ獅子」「這い獅子」「くり獅子」などが舞われます。